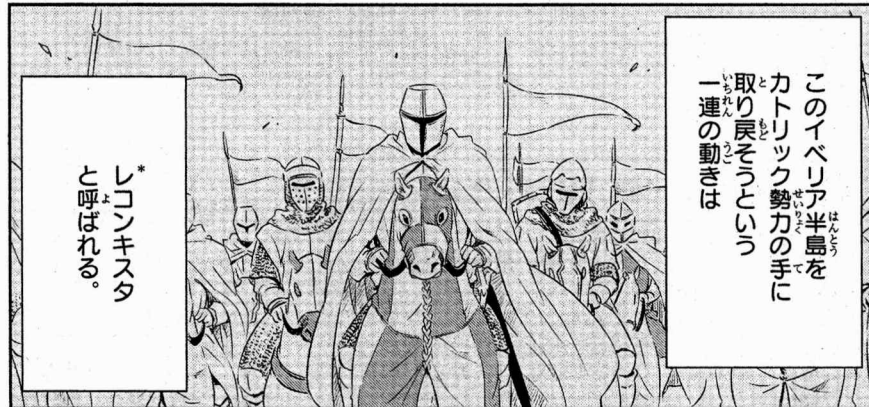
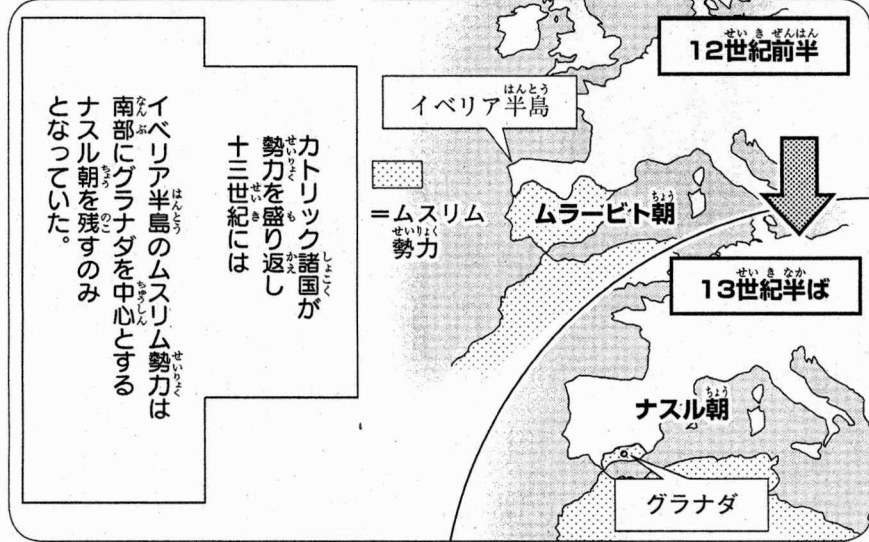
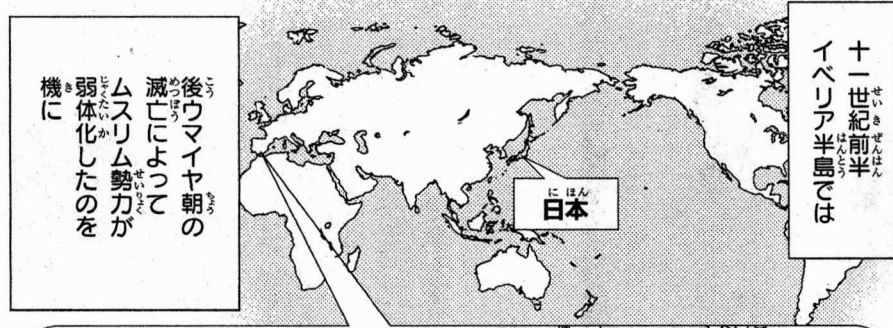


● Culture



*スペイン語で「再征服」を意味する。

角川まんが学習シリーズ「世界の歴史7 ひとつながりになる世界」
©KADOKAWA CORPORATION 2021 キリスト教勢力がイベリア半島を取り戻し、その後アメリカ大陸へと進出した歴史が描かれる

ナスル朝、西欧の影響強く

イベリア半島のイスラム勢力は、13世紀半ばには南部のナスル朝のみとなった。ナスル朝の君主は、1246年にカスティーリャ王に臣従したが、その後、離反したり、イタリアのジェノバ商人の援助を受けたりした。1492年、結婚していた2人の君主の共同統治下にあったカスティーリャ王国とアラゴン連合王国に

よって、本拠地のグラナダが陥落。ナスル朝は滅びて「レコンキスタ」は完結した。グラナダのアルハンブラ宮殿内の「諸王の間」には、14世紀末に描かれた、ナスル朝の廷臣たちだとも言われる天井画がある。黒田教授は「イスラム世界の宮殿で人物画が描かれるのは異例。ナスル朝への西欧の文化



アルハンブラ宮殿の天井画。14世紀末にナスル朝の廷臣たちを描いたと言われる—黒田教授提供

的影響の強さを示す」と話している。

*28日は「日本史アップデート」の予定です。

参考文献 黒田祐我『レコンキスタ』高監修・著、小倉真